巻頭特集

地元発☆注目コスメ

# 鍋八農産 コメヌカコスメ

## お米農家が作る お肌にやさしいスキンケア製品たち

地元産米の米ぬかを活用したスキンケア製品がある。お肌に安心・安全な「コメヌカコスメ」。どこで生まれた、どんなコスメなのか。紹介する。

「コメヌカコスメ」を販売するのは、弥富市を中心とした海部近郊でお米を作る「有限会社鍋八農産」。トヨタ自動車と共同開発したICT管理ツールにより、200haを超える広大な農地で先進的な米作りに取り組むことで知られる農業法人だ。

創業は、先代の八木賢治さんが鍋田の地に入植し米作りを始めた昭和37年。代表取締役を務める二代目の八木輝治さんが20歳で家業を継ぎ、法人化したのは1998(H10)年。2006(H18)年には愛知県から「エコファーマー」の認定を受け、その10年後には第45回日本農業賞「個別経営の部」大賞と第55回農林水産祭天皇杯をW受賞。農林水産祭天皇杯は農業分野で国内最高の栄誉とされるもので、鍋八農産の新しい農業のカタチを探求する活動や業績は広く知られるようになっていった。

W受賞の前年、2015(H27)年には、自社栽培米を使用したおにぎりやお弁当などを製造・販売するおにぎり商店「きはち」をオープン。「コメヌカコスメ」シリーズも、ここで販売され始めた。

### 産業廃棄物の米ぬか活用の道

「最初は売上げがほとんどなくて。とりあえず作ってみただけという感じでした(笑)」と話すのは、コメヌカコスメの発案者、取締役の八木淳子さん。輝治さんの妻で、結婚前は美容業界で働いていたこともあり、もともと化粧品が大好き。保湿をはじめ豊富な美肌成分を含有し、石けんが普及する前の時代には袋に入れて肌を洗っていた米ぬかを、コスメにうまく活用できないかとずっと考えていた。

鍋八農産の特徴の一つが、米を栽培する社員本人が自ら精米をして販売店に持っていくこと。精米する時に出る米ぬかは産業廃棄物だが、活用できれば廃棄物削減につながる。淳子さんが米ぬかの活用を思案していた頃は、昨今話題の「SDGs」という言葉はなかったが、今となってはコメヌカコスメでの米ぬか活用はSDGsな取り組みの一つといえる。

「自分たちが作っているものが安心・安全であることを、皮膚につけるものであれば、より分かっていただけると思いました」と話すのは企画・販売マネージャーの井坪将護さん。認定エコファーマーとして自信をもって取り組む安心・安全な米作りがあってこそできる、国内産米ぬかを活用したスキンケア化粧品を商品化したい。名古屋市内にある自然派化粧品の開発・製造を得意とする企業が、OEM製品として対応してくれることになった。

### 米ぬかエキスでしっとりお肌

ラインナップは現在7品。最初に「お米の石けん」、「お米のボディソープ」、「お米のハンドソープ」、「お米のハンドクリーム」が商品化され、続いて「お米の化粧品」、「お米の乳液」、「お米のクレンジング」が登場した。すべての製品には米ぬかから抽出したエキスが使われている。米ぬかエキスは吸収されやすい状態にあるため、栄養成分がしっかり肌に馴染むそうだ。

開発に最も苦労したのが、米ぬかをそのまま原料として配合している固形タイプの「お米の石けん」だという。届く試作品は、固形ではなく柔らかい石けんだったり、小さな虫が入っていたり、ことごとくNGが続いた。

鍋八農産のお米

「米ぬかの油分によって石けんが固まりにくくなるそうで、米ぬか成分をたくさん入れればいい石けんになるわけではありませんでしたし、徹底した減農薬生産をしているうちの米は当然虫がつきやすくて。虫の入っていない新鮮な米ぬかを委託先に何度も届けていましたが、今より人手も少なくて、いろいろ大変でした」と淳子さんは当時を振り返る。試行錯誤を繰り返すこと約1年。商品化にたどり着いた。

「お米の石けん」は洗顔にも全身にも使用でき、米ぬか配合の泡がやさしく洗い上げてくれる。洗い上がりはしっとりすべすべ。石けんネットを活用してより豊かな泡立ちで洗顔するのもおすすめ。ユーザーからは、洗顔後によくあるつっぱり感がないとう感想も多いという。

コメヌカコスメが商品化されるまで、いろんな化粧品を使ってきたコスメマニアの淳子さん。「洗顔やクレンジングは、汚れやメイクが落ちやすいものがいいと思いがちですが、洗浄力が強いということはそれだけ肌に負担をかけているということ。肌への負担を少なくするには、やさしく汚れを落とすものをおすすめします」と話す。

「お米のクレンジング」は、しっとりやさしく汚れを落とすジェルクレンジング。2、3プッシュ手にとり、顔にのせてやさしくなじませて洗い流せばOK。とろとろのテクスチャーが肌への刺激も少ないと好評だ。

手荒れが気になる人に人気なのが「お米のハンドクリーム」。保湿効果の高いハンドクリームは使用感のベタベタしたものが多いが、これは塗ってすぐサラサラに。それでいて手肌はしっとりなめらか。ハンドソープとセットで使えば、より手肌の乾燥、荒れが改善されそうだ。

米ぬか特有の匂いはしないのか。全製品その心配は無用。また内容成分はすべて植物由来。天然由来のものを使用し、黒糖による黄金色をしたボディソープ・ハンドソープ以外の製品は着色料無添加。自然派に嬉しいスキンケア製品になっている。

### 時世にマッチした話題商品に

コメヌカコスメを入手できるのは、先に紹介したおにぎり商店「きはち」の他に、「楽天ショップ」とふるさと納税サイトの「さとふる」がある。

「お陰様でネット販売がここ最近伸びています。ネットショップでの購入者様からのつながりで、全国展開をしている雑貨店での販売も決まり、販路が広がってきました」と井坪さん。コロナ禍の影響で、自分と向き合う時間が増え、健康志向もますます高まりを見せること数年。運動するだけでは飽き足らず、ファスティングに取り組む人やビーガンとなる人が増えているとも聞く。淳子さんと井坪さんは「毎日使うものなら身体にいいものを使いたい」という人が増えていると分析している。毎日のスキンケアに使えるお肌にやさしいコメヌカコスメは、今の世の中に合っている商品といえるだろう。

販売開始から7年が経ち、取引先や固定ユーザーも着実に増えてきた。「美容成分を高めたものなどグレードアップした商品はできないかとご要望をいただくようになってきたので、この冬から、新商品の開発やブランディングに取り組み始めました」と井坪さんは教えてくれた。「乾燥が気になるお肌をやさしくうるおす、米ぬかの保湿成分たっぷりのローションパックシートは是非商品化したいですね。私自身が毎日使うと思います(笑)」と話す淳子さんはギフトセットも考案中とのこと。魅力的な新ラインナップとなりそうで、今後の展開からも目が離せない。

安心・安全な地元産米ぬかのめぐみで、やさしくお肌をケアしてくれる「コメヌカコスメ」たち。そのしっとりした使い心地を一度体感してみてはいかが。

あいちのかおりを使ったおにぎりから多彩なお弁当類(380〜500円)が揃う。井系が人気。予算に応じた注文予約もOK!

**おにぎり商店きはち**

所在地／弥富市鯏浦町南前新田38-5
営業時間／7:00〜15:00
定休日／日曜・祝日 ※事前予約は販売
TEL／080-2643-2506